

ほこるわれらの千両校

- 千両小校長室だより 令和5年1月 No.9 -



シフォン

あいさつで学校・家庭・地域が一つになった千両校区

本年度、千両小学校はあいさつができる子どもを指導・啓発の重点の一つに掲げ、教育活動をすすめてまいりました。

朝、登校してきた6年生が、各学級を回り、下級生の子に「おはようございます」とあいさつをします。最近では、下級生へのあいさつに5年生が加わるようになりました。

日常生活や道徳の授業等、あいさつに関する指導・啓発は、日々重ねてきてはいますが、5年生では、民生委員さんをお招きし、あいさつについて学ぶ機会をもちました。それにより、子どもたちは、あいさつをされる地域の方々の気持ちを知ることができました。

また、地域の方々にも、学校の通用門にあいさつのプラカードを持って立っていただき、登校してくる子どもたちにあいさつをしていただきました。はじめは小声であいさつを交わしていた子どもも、回数を重ねていくにつれ、大きな声であいさつができるようになってきました。

PTAからも、10月中旬ごろに、にこにこあいさつプロジェクトと称して、児童玄関付近にて、登校してくる子どもたちを迎え、あいさつ運動を精力的に行っていました。

あいさつがひと際元気な子には、ごほうびシールを渡しました。

このように、保護者の皆様や地域の方々と連携・協働し、あいさつの指導・啓発を行った結果、12月に実施した学校評価アンケートの結果が以下のとおりとなりました。

【設問：「あいさつはしっかりできているか」に対する肯定的な回答の割合】
児童：86%（前年比+4%） 保護者：85%（前年比-4%） 教師：85%（前年比+28%）

<あいさつに関する地域の方々の評価コメント>

- ・朝のあいさつはよくできていると思います。
- ・ほとんどの子が元気な声であいさつできますが、一部の子ができていないようです。

あいさつを通して、学校・家庭・地域の連携のもと、子どもたちの成長を実感するとともに、家庭・地域からの手厚いサポートを受けていることを感じ、ありがたさと心強さを感じることができました。

「教職員のみで教育は完結しない。」今後も、学校・家庭・地域が一つとなり、教育活動を展開していきます。そして、よりいっそうのご理解・ご協力をお願いします。

